

坂本論文に対する米山先生のコメント

市場（財、サービス）の需要と供給の議論ではなく、暴走する金融資本にとっての「自由市場」を、新興宗教のように信じている。諸悪の根源は、アメリカの ホワイトハウス、ペンタゴン、ウォール街のトライアングルです。後ろに隠れているユダヤ資本家です。自分たちだけが、選ばれた「人間」であり、黄色人種、黒人、銅食人種は人間のうちに入っていないと傲慢不遜にも思い上がっているのです。

地域にあるものを全て「市場価格」でなぎ倒して地域社会を壊滅させるように作用しているのが「グローバリズム」であります。

これはアメリカンスタンダードを世界中に広めて、アメリカ人が、働かないで「豊かな生活」を維持しようという目論みであります。アメリカ留学で洗脳されてきたミクロ、マクロ経済学の「専門家」は、全体を認識能力を持たず、自分たちが勝手に切り出した「部分」の分析ばかりをやっています。予定調和でアメリカのやることを何事にも無批判に受けいれている。

坂本氏の TPP 論 全体像を描くことが出来た議論だとも思います。

この議論を、政権党、農水省、経産省、厚生労働省等の官庁、地方自治体、労働組合、農協などに伝えなければなりません。

- 1) 1枚のフローチャートを作成する
- 2) 工業編、農業編 1つの冊子にする
- 3) 民主党、自民党、その他の野党議員に配布
- 4) 農業団体、労働組合、経団連に配布

同時に新聞、雑誌に掲載してもらえるように働きかける。農業編を、北海道新聞に掲載してもらうように 投稿するなどを、思いついた次第です。

米山喜久治